

下関市立大学

地域共創研究報告会

地域共創研究とは、本学教員が地域貢献の観点から地域課題を見出し、その課題解決に取り組むことを目的とした研究です。この度、平成27年度研究の成果報告を下記のとおり開催いたしますので、市民の皆様及び本学学生の多くのご参加をお待ちしております。

【報告1】下関市のまちづくり運動の現状と課題



松本 貴文

経済学部 公共マネジメント学科 講師

下関市では、人口減少や少子高齢化の進展、地域経済の停滞が続いています。そうしたなか、住みよい地域社会を維持してゆくために、住民自治のまちづくりが政策的に進められようとしています。しかし、「住民自治が必要」ということは理解できても、それを実現するには多くの障壁も存在します。それを克服するためにも、現状の冷静な分析が欠かせません。そこで、本報告では、2つの調査結果をもとに、市内で行われているまちづくり運動の現状と課題についてお話しします。

【報告2】城下町長府地区マップからその歴史と文化・社会にふれる

平成27年度の地域共創研究として、城下町長府地区を対象に、その歴史と文化・社会のポイントをまとめたマップを作成しました。このマップは、主に下関市立大学で学ぶみなさんにマップを片手に長府の街を歩いてもらうことを意図し、まとめたものです。報告では、このマップをもとに、長府の歴史と文化、人口の動向、工業、商業についてお話しします。



吉武 由彩

経済学部 地域貢献担当 特任教員

- ◆ 日時：**6月8日(水) 18:00～19:00** (質疑応答含む)
- ◆ 場所：下関市立大学本館 I-201教室
- ◆ 参加費：無料
- ◆ 駐車場に限りがございますのでなるべく公共交通機関をご利用ください。

◇お問合せ先◇

下関市立大学附属地域共創センター
電話:083-254-8613
下関市大学町2丁目1番1号
chiikikyoso@shimonoseki-cu.ac.jp